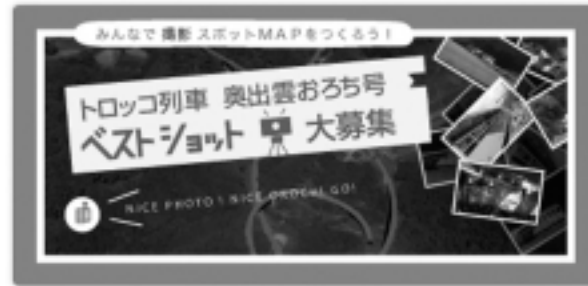


トロッコ列車 奥出雲おろち号 ベストショット大募集!

4月にオープンした奥出雲町観光情報WEBサイト『奥出雲ごこち』では、サイトイベントとして、JR木次線を走る「奥出雲おろち号」のベストショットを募集します。



今年から、出雲市駅から出発する便が開設された「奥出雲おろち号」は、神話の里「奥出雲路」を駆け抜けるJR木次線の人気者で、乗る人も、撮る人も楽しめる列車として、多くの方に親しまれています。

今回、WEBサイト『奥出雲ごこち』では、ユーザーの皆さんからお気に入りのベストショット写真を投稿いただき、サイト閲覧者による投票によってベストショットを選考しMAPを作成。作成したMAPはWEBサイト『奥出雲ごこち』で、ダウンロードしたり、町内の観光スポットで配布するなど、たくさんの方にご覧頂く予定です。

<<募集概要>>

募集テーマ みんなで撮影スポットMAPをつくらう!

トロッコ列車 奥出雲おろち号 ベストショット大募集

応募方法 奥出雲観光協会 観光情報発信サイト『奥出雲ごこち』サイト内コンテンツに投稿
URL <http://www.okuizumogokochi.jp/764>

募集期間 8月31日(火)まで
完成MAP公開 同サイト内で9月下旬頃予定

JR木次線 最終便ダイヤが改正されます

今年4月に開校した県立宍道高校(夜間部)の木次線通学生の対応として、最終便ダイヤ改正が3月に行われたところです。

しかし、奥出雲町を始めとした沿線自治体、沿線高校、県からの要望により元の時刻に改正されました。

改正ダイヤは6月7日(月)から運用されます。

(改正前)

木次 駅(発) 21時46分
出雲三成駅(着) 22時22分
出雲横田駅(着) 22時38分



(改正後)

木次 駅(発) 20時37分
出雲三成駅(着) 21時13分
出雲横田駅(着) 21時29分

広島のおにぎり店内に 観光情報コーナーオープン



奥出雲観光協会が五月十日、広島市中心にオープンした米専門店「おにぎり仁多屋本店」内に、奥出雲町の観光情報コーナー「仁多米のふるさと奥出雲だより」を開設しました。来店者に町のイベントや宿泊施設等を紹介し、集客につなげ、また同時に情報発信基地として期待されています。

おにぎり仁多屋は、飲食業MARUSHINが経営し、仁多米を奥出雲の地下水で炊き上げて販売されています。広島、岡山両県にある三店舗に加え、広島の一宮店として広島中心部の平和通り沿いにオープンされました。観光協会では、この店内入口横のコーナーに、イベント情報を載せたポスターの掲示や、パンフレットを並べてより一層の広島市内での観光PRに力をいれていきます。

また、風景写真と催事を季節ごとに掲示し、稲穂や米俵を合わせてディスプレイすることで、「仁多米のふるさと奥出雲」をPRしています。

オープニングイベントで観光協会会長の井上町長は、「広島中心部に仁多米や町の観光をPRし、観光客誘致につながるのももちろん、MARUSHINと提携した『奥出雲ツアー』を考えたい」と話していました。

町から 「ふるさと理解促進券」 を贈呈

今年度町外の学校から、町内の小中学校に赴任してきた教職員が顔合わせをする職員挨拶会が四月二十一日、役場横田庁舎大会議室で開催され、教職員二十六人と町関係者が出席しました。

この会では、町の歴史・文化に理解を深めて、地域との交流を後押しすることを目的に、町から初めて「ふるさと理解促進券」が対象の教職員九十三人に贈られました。

この「ふるさと理解促進券」は、玉峰山荘や糸原記念館などの観光施設八施設、田園倶



井上町長(左)から「ふるさと理解促進券」を受取る阿井小 柘植校長(右)

楽部奥出雲や岩田農園など七事業所、味工房みざわや井上醤油など十店舗などで割引や優待が受けられるものです。

井上町長から「どんな歴史や魅力を持つているか、早く理解して頂き、将来を担う子どもたちへのふるさと教育推進の一助としてほしい」と挨拶がありました。

また、高橋一郎横田中学校長から「ふるさと奥出雲に愛着を持った子どもに育てていきたい」とお礼の挨拶がありました。

- 自治会長会連合会役員
各地区自治会長会々々長が決定
自治会長会連合会
会長 岩佐 捷治
副会長 田部 隆義
各地区自治会長会々々長
・布勢地区 石原 肇
・三成地区 長谷川 重夫 (馬馳上)
・亀嵩地区 米原 利則 (上三成中)
・阿井地区 山根 義人 (八幡)
・三沢地区 田部 隆義 (上鴨倉)
・鳥上地区 堀 江 康輔 (山県)
・横田地区 岩佐 捷治 (大市)
・八川地区 石原 吉徳 (雨川)
・馬木地区 小早川 正幸 (女良木)